

（「田原やま里博物館」オープン）

平成15年11月、奈良市は、旧奈良町北部の伝統的な職人芸を今に伝える店を見てまわる「奈良まちかど博物館」を立ち上げた。

第2弾の取組みとして、奈良市東部の山里「田原」の魅力を引き出そうと平成18年3月「田原やま里博物館」全12館をオープンした。生業としての技、地場産業や文化財などを公開して、まちづくりに生かそうとしている。

田原へはJR奈良駅・近鉄奈良駅からバスで約30分。

■田原ブルーベリー園（予約制）

田原の農家では、お茶と米の生産で生計を立てているが、大川和夫さんは、第三の作物として手間をかけずに育てられるブルーベリーを選び（7品種1600株）、4年前から栽培を開始。収穫期の7月下旬～9月上旬に摘み取り体験・ジャム作りの講習会（有料）実施している。

住所：奈良市茗荷町 TEL：0742-81-0739

■岡井麻布商店（予約制 土曜日、日曜日・祝日は休館）

奈良晒は、江戸幕府の御用品（袴・帷子・夏の衣料）として認められ、その名声を全国に響かせた。岡井麻布店長の岡井孝憲さんは、今もなお、手紡ぎの糸を使い、のれん・タペストリー・バッグ・巾着などを手織りで製作している。機織り体験ができる。

住所：奈良市中之庄町107 TEL：0742-81-0026

■竹西農園「遊茶庵」（予約制 5、6、7月は農繁期のため休館）

竹西農園は、平成7年から無農薬有機栽培（農薬、除草剤を用いず）で作ったお茶を栽培・販売している。「体に優しく、安全で美味しいお茶を

作り、お茶本来の持つ甘いさわやかな香り、渋みと甘みのバランスのとれた味、まろやかな風味を引きだすことを心がけている。」とのこと。

「遊茶庵」では、竹西長士・多香子さんご夫妻から煎茶、かぶせ茶などのお茶の製法、日本茶の美味しい入れ方を教えてもらえる。

住所：奈良市中之庄町458 TEL：0742-81-0383

（上田）



岡井麻布店の機織機



竹西農園「遊茶庵」

「田原やま里博物館」一覧

博物館名称	内容
ふじもとじゅんせい 藤本 順正 木工房	木工家具・小物
サロン メリーガーデン	ステンドグラス
たはらしのめ 田原東雲共同製茶工場	お茶の製造工程・茶摘体験等
原木しいたけ園 宮中	椎茸の植菌・椎茸狩
おかいまふ 岡井麻布商店	奈良晒の展示・手織体験
ゆうちゃあん 竹西農園「遊茶庵」	煎茶道具・昔の生活道具
とぎしょうねや 研匠 根矢	理髪用の鋏等の研磨等見学
家具工房 窪田謙二	木工家具
奈良市指定文化財 松本邸	江戸時代の庄屋屋敷
田原ブルーベリー園	ブルーベリー
てんふう 天風窯	陶磁器工房
R工房	陶芸工房

これからの主な催し

〔主な行事〕

●5月14日（日） 16：00～17：00

當麻寺 聖衆来迎練供養会式

恵心僧都源信が始めたもので、当日は長い架け橋が渡され、極楽浄土から二十五菩薩に扮した人たちが、娑婆堂に進み中将姫を蓮台に乗せて浄土へ導く、来迎引接のさまを演劇的にあらわした古い宗教行事。

近鉄南大阪線 当麻寺駅 徒歩15分

●5月19日（金） 16：00～

唐招堤寺 うちわまき

鎌倉時代の中興の高僧、覚盛上人が修行中に蚊にさされているのを見かねて、弟子僧がうちわで払おうとしたところ、上人は、「自分の血を与えるのも菩薩行である」と言ったと伝えられている。その徳をたたえて、うちわを供えるようになったのが、うちわまきの始まりと言われている。

近鉄橿原線 西ノ京駅 徒歩8分